

## 授業科目

## 救急救命処置学II

担当教員名 山内 一	対象学年	2	対象学科	救急
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

## ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	○	○	

## 授業の概要

救急救命士が行う処置は、理論的な観察・評価に裏付けされていなければならない。そのためには、系統立てた活動展開の理解のもとで、さまざまな情報、傷病者の所見から病態を推測する能力が必要となる。本科目では、傷病者観察の基本的考え方をもとにした必要な処置と器材の取り扱いのうち、特に体位管理、創傷、固定、産婦人科領域に関する内容を専門基礎科目で学んだ内容と関連づけて学習する。

## 授業の目的

救急救命士に必要な傷病者観察の基本的考え方をもとに、体位管理、創傷、固定、産婦人科領域に関する内容を理解する。

## 学習目標

1. 緊急度・重症度判断を理解する。
2. 救急救命士が行う処置を理解する。
3. 産婦人科領域の処置を理解する。
4. 在宅療法継続中の傷病者の処置を理解する。
5. 傷病者搬送を理解する。
5. 関連する機器・器材の取り扱いや処置方法を理解する。

## 授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	緊急度・重症度判断(1)	講義	山内 一
2	緊急度・重症度判断(2)	講義	山内 一
3	緊急度・重症度判断(3)	講義	山内 一
4	救急救命士が行う処置(1)	講義	山内 一
5	救急救命士が行う処置(2)	講義	山内 一
6	救急救命士が行う処置(3)	講義	山内 一
7	救急救命士が行う処置(4)	講義	山内 一
8	救急救命士が行う処置(5)	講義	山内 一
9	救急救命士が行う処置(6)	講義	山内 一
10	救急救命士が行う処置(7)	講義	山内 一
11	産婦人科領域の処置	講義	山内 一
12	在宅療法継続中の傷病者の処置	講義	山内 一
13	傷病者搬送(1)	講義	山内 一
14	傷病者搬送(2)	講義	山内 一
15	まとめ	講義	山内 一

## 使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	改訂第9版 救急救命士標準テキスト 上巻	救急救命士標準テキスト編集委員会	へるす出版	2015年	10,584円	1年次購入済
	改訂第9版 救急救命士標準テキスト 下巻	救急救命士標準テキスト編集委員会	へるす出版	2015年	10,584円	1年次購入済
参考書						

### 評価方法

- 1.筆記試験（100%）。
- 2.必要に応じてレポートを課す。期限内にレポート提出ができない場合は評価点より減点する。
- 3.筆記試験が不合格の場合は1回のみ再試験を行なう。

### 履修上の留意点

以下に挙げる場合は、科目試験の判定を放棄したものとみなす。

- 1.1～14回のうち5回以上の欠席がある場合。
- 2.授業態度不良と判断された場合。

### オフィスアワー・連絡先

授業開始時に担当教員より連絡する。